

公共施設再編に係る小針地域実行計画策定に向けた第 1 回意見交換会 会議録

日時	令和 8 年 8 月 21 日(金) 17:00～18:35
場所	新潟市西区役所 健康センター棟 1 階 104・105 会議室
出席者	【地域代表・利用団体等 出席者】 ・小針小学校区コミュニティ協議会 会長 ・小針地区自治会 会長 ・小針地区自治会 役員 ・青山小学校区コミュニティ協議会 会長 ・青山コミュニティ協議会(浦山地区自治会長) 副会長 ・青山コミュニティ協議会(青山地区自治会長) 副会長 ・東青山小学校区コミュニティ協議会 会長 ・東青山コミュニティ協議会(東青山地区自治会長) 副会長 ・小針小学校PTA 副会長 ・小針中学校PTA 会長 ・小針荘運営委員会 会長 ・施設利用団体 関係者 【市事務局 出席者】 ・西区役所地域課 ・財務部財産活用課 ・西区役所総務課 ・西区役所健康福祉課 ・西新潟市民会館・小針青山公民館
次第	1. 開会・挨拶 2. 事務局説明 (1) 意見交換会の進め方について(資料 1) (2) 新潟市公共施設再編リ・スタートについて(資料 2) (3) 小針地域の公共施設の現状及び実行計画(検討素案)について (資料 3・参考資料・資料 4) (4) 意見交換の論点整理について(資料 5)

- | | |
|--|----------------------------|
| | 3. 意見交換・質疑応答
4. 閉会・次回案内 |
|--|----------------------------|

1. 開会・挨拶

【司会(西区役所地域課)】

はい、お待たせいたしました。それでは定刻となりましたので、少し遅れていらっしゃる方もおられますが、始めさせていただきますと思います。

本日は大変お忙しいところ、急な呼びかけにもかかわらず、「公共施設再編に係る小針地域の実行計画策定に向けた第1回意見交換会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは開会にあたりまして、主催者を代表いたしまして、西区役所地域課長よりご挨拶申し上げます。

【西区役所地域課長】

皆様、本日はお忙しい中お集まりくださいまして、誠にありがとうございます。

公共施設を取り巻く現状は大変厳しく、施設の維持管理コストは増える一方で、それを支える人口は減少しております。このまま放置いたしますと、将来世代へ大きな負荷がかかってまいりますので、これを少しでも軽減していくことを考えていく必要があるということで、昨年度から「リ・スタート」として全庁的に公共施設のあり方の検討を加速化させることになりました。

そのあたりの説明はまた後ほどさせていただきますが、今回、小針地域に所在する施設を対象に、地域の皆様、施設利用者の皆様にご意見をお伺いしながら、今後の施設のあり方を検討したく、このような形で意見交換会を開催させていただきました。

すべての公共施設を現状のまま維持管理していくということは、やはり相当難しいと考えております。そういたしますと、どうしてもこれから検討していく内容というのは多少なりとも痛みを伴うものでありますし、それが実現されるということになりましたら、施設の利用者様には一定程度のご不便をおかけすることは免れないと考えております。

とはいえ、将来世代へできるだけ負荷を減らしつつ、必要なサービスをいかに皆様にお届けするか、どのような施設のあり方が望ましいのかということ、ぜひ一緒に考えていってほしいと思ひまして、本日お声がけをさせていただいたところでございます。

本日の含め全3回の意見交換会を予定しておりますが、どうぞ最後までお付き合いいただきますよう
よろしくお願いいたします。

2. 事務局説明

【西区役所地域課 [資料1:進め方・趣旨目的について]】

それでは資料1から進めさせていただきます。「本日の意見交換会の進め方と趣旨・目的について」
でございます。

新潟市では、先ほどのご挨拶にもありました通り、将来にわたり持続可能な市民サービスと健全な財政運営を両立させるため、中学校区ごとに地域の特性に応じた「地域別実行計画」の策定を進めて
おります。

こちらの意見交換会は、行政が一方的に方針を決めてお伝えする場ではなく、市から小針地域の施設
の現状や計画の素案を一定程度お示ししながら、地域や施設利用者の皆様と課題認識などを共有
した上で、率直なご意見を伺いながら、これからの小針地域にとって望ましい公共施設のあり方を
考えていくということで設置させていただきました。

本日お配りしている資料や皆様からいただくご意見に関しましては、ホームページや各施設にて今
後公開していきたいと考えております。本日ここにご出席の皆様だけでなく、広く地域住民の皆様や
一般の利用者の方々からもご意見をいただきながら、今後計画の策定を進めてまいります。

資料の下段「2. 計画策定のプロセスとスケジュール」をご覧ください。本計画の策定にあたっては、本
日8月21日の第1回を皮切りに、全3回の意見交換会を予定しております。

・第1回(本日・8月21日):公共施設を取り巻く背景、小針地域の現状と課題、計画の検討素案を
ご提示し、皆様との現状認識の共有と地域からのご意見を伺います。

・第2回(10月7日):本日いただいたご意見・ご質問に対する市の考え方や対応方針をお示しし、
計画素案に対する懸念点の解消などを図ってまいります。

・第3回(12月頃予定):これまでの議論を踏まえた計画の最終案をお示しし、今後の具体的な取り
組みの進め方について最終的な合意形成を図ってまいりたいと考えております。

皆様との対話を重ねながら段階的に計画を練り上げてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは続きまして、資料 2 の「公共施設再編リ・スタートについて」、財産活用課より説明をお願いします。

【財務部財産活用課 [資料 2:公共施設再編リ・スタートについて]

財産活用課より説明をさせていただきます。資料 2 の 2 ページをご覧ください。「公共施設を取り巻く現状と課題」でございます。

新潟市につきましては、政令指定都市に移行するまでに 15 の市町村が合併したことから数多くの公共施設を保有しており、令和 6 年度時点で 897 施設ございます。

これらの多くが昭和 50 年代に整備したものであり、修繕や建て替えの時期が一斉にやってまいりますが、すべての施設を建て替えることは財政上も工事の体制上も困難であることはご理解いただければと思っております。また、今後さらに人口減少が進むことから、将来世代に財政的な負担を持ち越さないために、公共施設を質や量、経費の両面において最適な形で引き継いでいく必要があると考えております。

次ページ、3 ページをご覧ください。西区の公共施設を取り巻く現状についてですが、西区には現在 133 施設ございます。施設の半数以上が昭和 60 年代以前に整備したもので、築 40 年以上が経過し老朽化が進んでおります。

次に 4 ページをご覧ください。西区の人口は年々減少しており、今後 30 年間で約 17.5%の減少と推計されております。また世代構成割合の推移を見ますと、高齢者人口の割合が増加する一方、15 歳から 64 歳の生産年齢人口や 14 歳までの年少人口の割合が減少しております。

5 ページをご覧ください。本市では公共施設の総量削減とサービス機能維持を基本とした取り組みを平成 27 年度から進めてきました。中学校区単位をベースとした市内 55 地域で「地域別実行計画」を作る取り組みを進めてまいりましたが、令和 6 年度末現在、約 10 年間で 6 地域の策定にとどまるなど、なかなか取り組みが進んでいない状態でございました。

そのため、昨年度から市役所庁内の関係部署が連携してこの取り組みを「リ・スタート」することとし、地域の皆様と公共施設を取り巻く目的を共有しながら議論を加速化してまいりました。その結果、現

在までに延べ 15 の地域で策定し、今年度はさらに多くの地域で具体的な検討に着手する予定となっております。

6 ページをご覧ください。地域の皆様と検討を進めるにあたり「3 つの視点」を基本としております。

1 つ目は「質の向上」です。施設に生じている余裕スペースに他の施設で行われてきた事業や機能に移転・統合するなど、複合化や多機能化によって活動の幅を広げ、1 つの地域で複数の機能を担っていく考え方です。

2 つ目は「量の削減」です。老朽化が著しい施設や利用が減少している施設を減らし、場合によっては他施設へ再編するなど、人口減少や利用規模に見合った施設規模への最適化を進めます。

3 つ目は「経費の削減」です。質においては良いものに、量においては最適な施設量に集約することで、維持管理経費の改善を進めてまいります。また経費の見直しを進めることで、時代の変化に即した新たな機能やサービスを増やすことにもつなげたいと考えております。

施設の再編により一時的にご不便をおかけする場合がありますが、将来世代に過度な負担を残さないためにも欠かせない取り組みでございします。

7 ページをご覧ください。公共施設を将来世代に適切に引き継いでいくため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。私からの説明は以上です。

【西区役所地域課 [資料 3・参考資料・資料 4:現状と実行計画素案]

引き続きまして、今度は小針地域にフォーカスを当てた形で説明をさせていただきます。

資料 3 をご覧ください。

まず 1 ページ目の位置図です。小針中学校区エリアには、小針小学校、青山小学校、東青山小学校の 3 つの小学校区が含まれております。青山小学校エリアの東側は厳密には中央区の関屋中学校区にあたりますが、本計画で取り組む小針中学校区エリアは青山小学校区・青山コミュニティ協議会エリア全体を含めて考えております。

中心部には地域の中核拠点である「西新潟市民会館」および「小針青山公民館」があり、北側には「青山コミュニティハウス」と「青山地区図書室」、南側には「老人憩の家小針荘」や「小針保育園」が位置しております。

また、各小学校区には学校施設とともに「ひまわりクラブ」が配置されております。地域の地形としては、標高の高い位置を走る西大通りを境に海側と内陸側で分かれているような地域形状となっております。

2 ページ、3 ページの一覧表をご覧ください。小針地域の特徴として、昭和 40 年代から 50 年代にかけて整備された施設が多く、築 40 年以上経過した建物が複数存在します。

青山コミュニティハウスは築 44 年、老人憩の家小針荘は築 47 年を迎えております。また西新潟市民会館・小針青山公民館は平成 9 年建築で築 29 年となっており、非常に多くの方にご利用いただいている一方で、設備の老朽化が生じております。

学校教育施設につきましても、小針小が築 61 年、青山小・小針中が築 55 年、東青山小が築 46 年となっており、耐震化工事等は行われておりますが、長寿命化や適切な維持管理が求められています。なお、小針保育園や青山斎場は市全体の個別計画に基づき管理されているため今回の検討対象外としております。

4 ページ以降の各施設詳細です。西新潟市民会館・小針青山公民館は、ホールを有する市民会館で年間約 1 万 5,000 人、公民館で年間約 4 万 5,000 人にご利用いただいております。青山コミュニティハウスは年間約 1 万 5,000 人にご利用いただいております。ひまわりクラブ各施設(6・7 ページ)は放課後児童の健全育成を担っております。老人憩の家小針荘(8 ページ)は高齢者の健康保持や福祉増進を目的に年間約 4,000 人のご利用がございしますが、築 47 年で建物の老朽化が進んでおります。

続きまして「参考資料」をご覧ください。人口動態の推移でございます。2019 年から 2026 年にかけての住民基本台帳人口データをもとに年齢 3 区分(0～14 歳:年少人口、15～64 歳:生産年齢人口、65 歳以上:老年人口)で整理しております。

小針中学校区の総人口は、2019 年の 2 万 6,420 人から 2026 年には 2 万 4,726 人と約 1,700 人(－6.4%)減少しております。その中で年少人口は 3,150 人から 2,564 人に減少し、高齢化率は 28.6%から 31.5%へと急上昇しております。世帯数は約 1 万 2,000 世帯で横ばいから微増傾向にあり、高齢者の単身世帯やご夫婦のみの世帯が増加しております。

小針地域は人口が安定して定住している成熟した住宅街である一方、子ども世代の減少とシニア層・単身世帯の増加という変化が見られます。

施設の利用状況を見ますと、小針青山公民館のプレイルームが 71.9%、音楽室が 66.1%、大会議室が 61.4%と非常に高い稼働率を示しており、日常的な利用が深く根付いております。小針荘につきましては、下の補足に記載の通り、令和 8 年 6 月 17 日よりお風呂の設備が故障し、製造メーカー廃業により部品がなく修理不能なため、入浴サービスを停止しております。

続きまして、資料 4 の「小針地域実行計画の検討素案」についてご説明申し上げます。

説明に入る前にまず皆様にお伝えしたい点としまして、お手元の資料に記載している内容は現時点で決定したものではなく、皆様と一緒に検討していくための「たたき台(素案)」としてお示ししております。小針地域は人口が安定して定住している住宅街であり、市として大規模な施設の廃止や統廃合を行うことは考えておりません。各施設が抱えている課題を今後どのように解消し、地域の皆様にとってより安心で使いやすい拠点として次世代へ引き継いでいくか、その方向性の案をお示しするものです。

1 ページの「再編の考え方」をご覧ください。以下の 3 点を柱として検討を進めます。

1 つ目として、大規模な再編は行わず、各施設の課題解消を目指すこと。

2 つ目として、地域の中核である西新潟市民会館及び小針青山公民館の改修を通して利用実態に応じた施設運営へとリニューアルしていくとともに、老朽化が進んでいる小針荘の将来的な廃止を通して公共施設の運営コストの削減を目指すこと。

3 つ目として、青山コミュニティハウスの将来的な改修を通して持続可能な施設運営を目指すことです。

各施設の方向性についてご説明いたします。

まず、西新潟市民会館につきましては、安全性を確保するための特定天井工事や LED 化、基本設備の修繕工事を令和 11 年度までに実施したいと考えています。特定天井工事とは、東日本大震災の際に広い空間の天井が脱落したことを受けて建築基準法が改正され、それ以前に建てられた大空間の天井に対して改修が求められているものです。西新潟市民会館ホールはこの工事が未実施のため、早めに対応していきたいと考えております。また蛍光灯の製造廃止に伴う LED 化工事も必要です。

そして、そのような改修に伴い、現在の舞台ステージにある演出用照明（吊り物照明等）を撤去し、合わせてこれまで配置していた専門業者による照明・音響演出の委託を廃止できればと考えております。現在はホールの予約が入ると専門委託業者が来て音響・照明の調節を行っておりますが、今後は利用者ご自身で操作できるような簡易的な照明設備（LED シーリング等）へ改修することで、専門業者への委託費用を削減し、持続可能な運営につなげられないかと考えております。

一体となっている小針青山公民館は非常に稼働率が高いため継続利用を前提とし、小針荘が抱えている高齢者の交流機能・コミュニティ機能を将来的に公民館の方で受け止められないかと考えております。

次に、青山コミュニティハウスは築 44 年と老朽化が進んでおりますが、地域の身近な活動拠点、コミ協様の事務所・拠点としても重要であるため、長く使い続けられるよう将来的な現地大規模改修を検討いたします。青山地区図書室はサービス提供方法の変更等を検討してまいります。

ひまわりクラブ各施設は継続しながら環境改善を検討します。被災した東青山旧第 1 プレハブは令和 9 年度中に解体を予定しております。

老人憩の家小針荘は、入浴サービスは停止しておりますが、集いや健康づくりの場としては現在も稼働しております。今後、利用状況を踏まえつつ、利用が少なくなった場合には交流機能を小針青山公民館等に移した上で施設の廃止を検討していく「条件付き継続」の案としております。

3 ページ、4 ページのスケジュールのイメージをご覧ください。

西新潟市民会館につきましては、工法検討や詳細設計を経て、令和 11 年 7 月から令和 12 年 3 月頃にかけて工事に伴う一時休館を想定しております。

繰り返しになりますが、本日お示しした内容は決定事項ではなく、皆様のご意見を伺いながら練り上げていく素案でございます。皆様のお声をぜひお聞かせいただき、小針地域にふさわしい計画を一緒に作っていきたいと考えております。説明は以上です。

【西区役所地域課 [資料 5: 論点整理と進め方]

それでは資料 5 の「意見交換の論点整理」についてご説明いたします。

基本スタンスとして「未来志向のディスカッション」「異なる意見の尊重と掛け合わせ」を掲げております。本日いただいたご意見は、今後 10 年スパンの計画策定の参考とさせていただきます。

また、本日ご出席の皆様だけでなく、資料等をホームページや主要施設に設置して広く地域の方々からもご意見を募集いたします。

裏面の論点整理にございます通り、西新潟市民会館、小針荘、青山コミュニティハウスをはじめ、現状の利用実態や今後のあり方について、忌憚のないご意見・ご質問をいただければ幸いです。

それでは意見交換に入らせていただきます。ご発言のある方は挙手をお願いいたします。

3. 意見交換・質疑応答

【意見交換会参加者(質問・意見)】

西新潟市民会館の多目的ホールについてです。何年も前から指導者の方から言われていたことなのですが、ホールに「反響板」がないんです。

ステージの後ろに反響板があると演奏する側としては非常に演奏しやすいのですが、西新潟市民会館には最初から設置されていません。新潟市音楽文化会館やりゅーとびあ等には当然ありますし、西区の黒埼市民会館にもあります。

先ほど、天井改修に合わせて専門業者を入れない形にしてコストを浮かすというお話がありましたが、例えば将来的にホールを残した状態でどのように使っていただきたいと考えているのでしょうか。もし音楽関係での利用も考えていらっしゃるのであれば、反響板がないとせっかくステージがあるのに良さを出せていないという思いが強いです。

改修にあたってどのような工事をしていくのか、どんな機能が求められるのか、検討していただけないでしょうか。

【市事務局】

改修をするということになりましたら、どんな機能が求められるかということも、こうした意見交換の場でご意見をいただき、できるかどうかを検討させていただきたいと思います。

お声をいただかないと私たちも気づかない部分がございますので、利用者目線に立った大事な設備のご指摘として受け止めます。

反響板につきましては、物理的に設置が可能なのか、建物の構造との兼ね合いや専門家との相談が必要になってくるかと思います。

西新潟市民会館に反響板がないことは私たちも承知しておりまして、同じ西区内の黒埼市民会館にはございますので、そういったところでカバーできる部分もあるかと思います。

照明につきましては本格的な舞台演出ができるものは見直す方向ですが、その代わり音響面をしっかりと確保するなど、施設を愛して利用してくださっている方々のご意見を伺いながら、予算や維持管理の面と合わせて検討・相談させていただきたいと思います。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

平成 27 年に策定され、令和 4 年 3 月末に改定された個別計画(地域別実行計画)がありますよね。西区の地図や個別施設の一覧が載っている計画ですが、あれは今生きているのでしょうか。

令和 8 年の「リ・スタート」という説明の中で、物事が進まないから急ぎますという宣言はわかるのですが、根本的に我々の計画や基本方針は変わっているのでしょうか。

前回の計画では西新潟市民会館は「ホール機能廃止」と書いてあったのが、今日見たら「修繕・改修」となっていましたし、保育園の廃止なども前回の計画にはありませんでした。

小針荘も当時は 4 年目の廃止となっていたのが今回変わっています。

何が根本的に変わってリ・スタートとなったのか、その点と、今日示された資料 4 の位置づけについて教えてください。

【市事務局】

令和 4 年 3 月に改定した地域ごとの再編案は、地域の方々とお話し合いをさせていただく上でのあくまで「たたき台」という位置づけでした。

ですので、それが確定して生きているかどうかというよりは、それを踏まえて地域の皆様と意見交換しながら方向性を決めていくことになっております。

今回のように、前回の計画で言われていたものと違う方向に見直されていくものも当然ございます。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

資料 4 の西新潟市民会館のところに「ホール機能廃止のタイミングは別途協議」と書いてあります。

ホールの利用をやめて廃止するのか、改修して使うのか、どちらなのでしょう。

【市事務局】

きちんと「ホール機能とは何か」という定義なしにこのような記載になっており、どのように捉えればいいかわからないというのはご指摘の通りだと思います。

私たちが今考えているのは、プロの演劇を行う人たちが使うような立派な「吊り物照明」等の設備についてです。

あれを維持管理するのにも点検費用やメンテナンス費用がかかっております。部屋を照らす通常の照明はもちろん備え付けますが、プロの興行にも耐えうるような特殊照明設備は、LED 化や特定天井工事をする際に撤去できないかと考えております。

そして、新たに簡易に操作できる LED シーリングライト等の照明にできないかと考えています。

ただ、利用者の中には「そうした立派な照明設備があるからこのステージを借りている」という方もいらっしゃると思います。

黒崎市民会館にはそうした設備がございますので、そういった方々には市内の他の交流施設を代替としてご利用いただけるかどうかをお尋ねしたいと思っておりました。ホールの広い空間自体は活かすのですが、特殊照明設備がなくなることによる「機能のダウングレード(適正化)」を考えているところでした。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

小針荘について、現状のままであれば今年度中に利用者が激減して終わってしまうのではないのでしょうか。

お風呂の設備について修理ができない場合は入れ替えるしかない状況とのことですが、どうなるのでしょうか。また、健康器具などを市で購入してもらうことはできるのでしょうか。

【市事務局】

まず、お風呂の設備ですが、修理ができず入れ替えるしかない状況です。

しかし、新潟市全体の「公共施設のこれからを考える基本的な指針」の中で、老人憩いの家の入浴設備については「更新・交換は行わない」という市全体のルールが定められております。

これまで何とか修理して持たせてきたのですが、修理不能で交換しかない状況となったため、入浴サービスの再開の目途は立たない状況です。

もともと老人憩の家は昭和 40 年代にできた制度で、入浴だけでなく交流やレクリエーションを行う施設です。約 9 割の方がお風呂を目的に来られていましたが、カラオケや体操などの交流を楽しみに来てくださる方には引き続きご利用いただきたいと思いますと考えております。

今年度、お風呂停止後の利用状況を見極めつつ、利用者が非常に少なくなった場合には廃止を検討せざるを得ないと考えております。

器具の購入予定はございませんが、現在小針荘で活動されている方の口腔体操など、器具を使わない体操や活動を引き続き支援してまいりたいと考えております。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

小針保育園についてですが、ご承知のように送迎用の駐車場がありません。

住宅街の中にあり、保護者の送迎車による苦情などが出ています。保育園の前の更地などを駐車場として利用できないでしょうか。

また、「民間の保育施設の進出に伴い閉園を検討」と書いてありますが、近くのマンションの隣の更地のことでしょうか。

以前、認定こども園ができる予定が中止になった経緯もありますが、具体的な進出計画はどうなっているのでしょうか。

【市事務局】

具体的な民間保育園の進出計画が進んでおりまして、予定では令和 10 年 4 月 1 日付で近隣の場所に民間の保育園が開園する予定となっております。

それに合わせて、現在の市立小針保育園を閉園し、在園児については新設園や希望する園に通っていただく計画となっております。

閉園時期については検討中で、こども未来部の計画に基づき進められております。駐車場の課題についても関係部署へ情報共有いたします。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

資料４のスケジュールで、西新潟市民会館の休館時期(令和１１年７月～令和１２年３月)とありますが、これは市民会館(ホール)だけの休館ですか。

小針青山公民館も一緒に休館するのでしょうか。

【市事務局】

現在工法を検討中ですが、想定といたしましては、一旦「全館休館」して一気に工事を仕上げることをできないかを検討しております。

小針青山公民館も含めて築３０年近く経過し様々な設備が老朽化しておりますので、ホールの特定天井工事やLED化と合わせて、できれば一気にやれればと考えております。

全館休館の可能性もございますが、確定したものではございませんので、皆様のご意見を伺いながら詰めてまいります。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

小針荘について、昨年度の１日平均利用者が１４人で市平均(２５人)を下回っているとのことですが、利用者がどれくらい減ったら公民館等へ移転するのか、人数の基準はあるのでしょうか。

また、９年間の条件付き継続となっておりますが、いつどうなるか示されないと利用者も指定管理者も困ります。

ある程度時期や条件の目安を示した方が良いのではないのでしょうか。

【市事務局】

明確に「何人」という基準は決めておりません。ただ、利用者が減り、施設を廃止する場合でも、そこで活動されていた方々が近くの公民館等で活動場所を確保できるよう、機能移転を進めたいと考えております。

利用者の皆様へアンケート等も予定しておりますので、ご意見を踏まえ、時期の目安についても考えていきたいと思っております。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

財政について確認したいのですが、財産経営推進計画の中で、市全体で１０年間に維持管理経費

を 10%(約 90 億円)減らすという目標がある中で、小針地域のこの提案内容でその目標に沿っているのでしょうか。

この程度の見直しでよろしいのでしょうか。

【市事務局】

市全体で 10 年間に維持管理経費を 10%削減するという計画目標がございます。

現在、公共施設全体の維持管理経費は約 900 億円かかっており、10%削減で約 90 億円となります。しかし資材高騰や燃料費高騰などコスト上昇要因もあり、なかなか数字通りに進んでいないのが実情です。

全体として総量削減・コスト削減の目標はございますが、地域ごとに個々の削減目標を定めているわけではございません。

小針地域については施設利用率が非常に高く、今すぐ壊さなければならない老朽化が著しい施設もないため、現状の利用実態に即した計画をご提案させていただいております。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

西新潟市民会館のホールについて、当団体では年に 10 回から 12 回ほど使わせていただいております。黒埼市民会館は予約が非常に取りづらく、スタッフ配置や経費面でも負担が大きいため、西新潟市民会館を重宝しています。

吊り物照明がなくなるというのは、子どもたちに様々なジャンルの舞台を見せたい立場からすると、できなくなる公演が出てきます。年に数本はプロ劇団を呼んでおり、持ち込みの照明を吊り具につけさせてもらっています。LED 化によってどの程度の照明ができるのか、スポット的な照明はできるのかなど、新しいスタイルのホールで何ができるのかを具体的に専門の方からお聞きできるとありがたいです。

【市事務局】

照明設備の撤去も完全に決めたわけではございません。持ち込み機材で対応できるのか、あるいは市側で簡易な持ち込み用機材を備えるなど、できるだけ今と同じような活動が続けられる方法がないか、細やかなやり取りをしながら一緒に考えていきたいと思っております。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

30 年間で延床面積 9%削減、10 年間で経費 10%削減という目標期間について、今回のリ・スタートによって期間を先延ばししたのでしょうか。

それとも令和 13 年度までの目標値を変えずに達成する方針なのでしょうか。

【市事務局】

後者でございます。

30 年間で 9%の総量削減、10 年間で 10%の経費削減というゴール自体は変更しておりません。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

青山コミュニティハウスについてですが、利用コストに対して利用率が高い施設です。

改修工事となった場合、3 ヶ月程度の休館が必要になるかと思いますが、その間も地域住民が交流する場所が必要ですので、代替機能の確保をお願いしたいです。

また、管理されている方の雇用面も含め、不安がないように工事を進めていただきたいです。

当地域は西大通りと産業道路の高低差が非常に大きく、高齢者にとっては車などの移動手段や駐車場の確保が長年の課題です。利用率に見合ったインフラの充実も考えていただきたいです。

あわせて、青山小学校体育館の空調設備(エアコン)についてですが、猛暑時の避難所機能や防災訓練の観点からも、優先順位を早く考えて設置を進めていただきたいです。

【市事務局】

工事の中身を検討し代替機能をどこにするかを考えるだけでも数年かかり、決定から改修完了まで概ね 5 年程度かかります。

青山コミュニティハウスも築 44 年を迎えますので、利用実態に応じた改修と駐車場等の付随設備の利便性向上について、いただいたご意見を受け止めながら検討してまいります。

青山小学校体育館の冷房化につきましては、所管の教育委員会施設課へ地域の強いご要望としてしっかりとお伝えさせていただきます。

【意見交換会参加者(質問・意見)】

少子高齢化が進み、医療費の自己負担増などが大きな問題となっている中で、趣味や健康、生きがいのための箱物施設に多額の公金を投入し続けることには疑問を感じます。

建物を造るのも大変ですが、維持管理費がかかり続けることが問題です。

公民館などの使用料も現状は非常に安価ですが、今後は受益者負担を徹底し、利用料を適正にいただくべきです。

照明にこだわる方は相応の費用を負担すればよいのではないのでしょうか。小針荘にしても民間のサービス等があります。

今後は子どもが増えることは考えにくいのですから、10年後、20年後を見通して、もっと思い切って「これはやめます、縮小します」という方向で進めるべきです。

利用している方は不満でしょうが、将来世代に大変な負担を残さないためにも、生きがいを求める人には相応の自己負担を求めるべきだと思います。

【市事務局】

利用する方の応分の負担ということで、新潟市でも受益者負担の考え方を定め、令和7年度より公共施設の使用料改定を一斉に行いました。

予算の使い方としてどうあるべきかという本質的なお話ですが、一方で施設を利用すること自体が生きがいになり、健康寿命の延伸や孤立防止につながっている側面もございます。

そうした方々の思いも無下にはできませんので、財政規律と住民の生きがい・健康維持の「ちょうどいい落としどころ」をどこに見出すか、皆様の多様なご意見を伺いながら納得していただける部分を探っていきたいと考えております。

4. 閉会・次回案内

【西区地域課】

予定の時間を超過してしまい申し訳ありませんでした。

一旦ここで第1回意見交換会を終了とさせていただきます。

資料5に掲載の二次元コードやホームページからも追加のご意見を受け付けておりますので、後日

思いついた点などがございましたらメール等でお寄せください。

次回(第2回意見交換会)は、令和8年10月7日(水)17:00より、小針青山公民館にて開催を予定しております。改めまして皆様にご案内を差し上げます。

本日は長時間にわたりご参加いただき、誠にありがとうございました。